

# 「農の入口」モデル事業 の具現化

Key words; なら近大農法、ICT農法、農の担い手、メロン、トマト

## 本研究の革新的技術

- ★ICT技術導入による液肥供給、温度・水分・日照管理の自動化
- ★農作業の負担軽減化
- ★収穫量の増加と品質の安定化

## 本研究の用途

- ★次世代農業の担い手を育成
- ★高収益作物の栽培による所得の安定化
- ★市場調査・データ解析による農法の普及
- ★「近大ブランド」の商品開発

## 研究概要

### 「研究目的」

農業参入に関心のある学生を対象に円滑な就農を支援できるモデルづくりを行うため、農学部内に実践温室を設置し、ICT（情報通信技術）農法を利用した「なら近大農法」の確立を目指します。

### 「実施結果と予定」

学生は専門家の指導のもと、栽培から販売までの一連の過程を学びました。今後は、「なら近大農法」を奈良県内の各地に展開し、実用化を図ることで農業初心者だけでなく、女性や高齢者、障がい者等に対する農業参入を容易にし、農業を担う人材の育成を行っていきます。



ICT農法を利用した栽培管理システムの確立



糖度の高いメロン品種「バンビーナ」の作出とメロンジェラートへの加工